

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	局所進行腎癌の予後と予後因子の探索(多施設共同研究)		
2. 対象患者	2008年1月1日から2018年5月31日までに局所進行腎がん(cT3b/c/4、M0)と診断され、弘前大学附属病院で腎癌の加療を行った患者さんです。研究全体で約70人程度、弘前大学附属病院は10-20例程度を予定しています。		
3. 対象となる期間	2008年1月1日 ~ 2018年 5月31日		
4. 実施診療科等	泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	畠山真吾	所属 泌尿器科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	この研究の実施施設は、山形大学医学部泌尿器科(土谷順彦)、秋田大学医学部泌尿器科(羽瀨友則)、岩手医科大学泌尿器科(小原航)、東北大学医学部泌尿器科(伊藤明宏)、宮城県立がんセンター(荒井陽一)、福島県立医科大学泌尿器科(小島祥敬)、筑波大学医学部泌尿器科(西山博之)です。代表施設は山形大学医学部泌尿器科(土谷順彦)です。		
7. 研究の意義	ここ20年の間に局所進行腎がんに対する治療方法は大きく変化しており、今後も変わっていくことが予想されています。局所進行腎がんは、再発しない方もおりますが、急速に再発・進行し寿命が短い患者さんもおります。そのため、最適な治療を行うため、過去に治療を行われた患者さんのデータを集積し、解析することにより、よりよい治療を行うことができます。		
8. 研究の目的	局所進行腎がんの患者さんの予後と、予後を予測する因子を検討し、これまでよりも正確に予後を予測するモデルを作成したり、それぞれの患者さんにあった治療が何かを調べます。そのため、局所進行腎がんと診断された患者さんの臨床データを集積、解析を行います。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	この研究では、2008年1月1日から2018年5月31日までに局所進行腎がんと診断され、弘前大学医学部附属病院泌尿器科及び研究参加施設で治療されている患者さんを対象に、臨床データを集積します。対象の患者さんの臨床情報は個人が特定されない形に匿名化された後、山形大学腎泌尿器外科学講座で集積しデータベース化した後、各施設に電子的配信され、データ解析されます。得られた知見は、学会や論文として公表いたしますが、個人情報公表されることはありません。この研究を行う期間は、この研究が承認されてから西暦2023年3月31日までの予定です。		
10. 個人情報の保護	この研究では、個人情報は厳重に保護・管理します。患者様の情報(住所・氏名・生年月日等)は削り、すべて記号を用いて扱います。記号化に関する記録は、弘前大学大学院医学研究科にて厳重に管理保管し、患者様のプライバシーが外部に漏れることはありません。この研究は、遺伝情報の解析は行いませんので、個人の遺伝情報などのプライバシーの問題が生じることはありません。この研究の成果は患者様のプライバシーを保ちながら、学会での発表や学術誌・データベースなどで公開されることがあります。 なお、この研究は、研究代表者の所属機関である山形大学大学院医学研究科および本学の倫理委員会で審査を受け、この研究の遂行には科学的な価値が十分にあり、研究方法が医学的に適切で、患者様の人権が守られていることが確認されて承認されたものです。		

11. 利益相反に関する状況	この研究の研究費用は公的研究費(科学研究費)を用いて行われます。また、検査する糖鎖は順次公表され、利害の衝突ありません。			
12. 連絡先	弘前大学 医学部附属病院 泌尿器科 (月～金:9:00-17:00)			
	電話	0172-39-5091	FAX	0172-39-5092